



金石の「蛙合戦」とその供養碑

宝暦元年九月二十一日というから西暦では一七五一年、今から二二三年前に建立された「蛙の供養碑」が現在もなお上手渡の金石という部落に建っており、これにまつわる次のような話しが伝えられています。

それは、元文年間（西暦一七三六年頃）の頃、いやそれ以前かも知れない。とにかくその頃がこの「蛙合戦」の最も激しい戦いがあつた時代なのかも知れない。そしてこの戦は、毎年季節をまっけて行われ約十年位は続いたろうということであつた。毎年三月末から四月はじめになると、どこからともなく長い冬眠から覚めた何万という数知れぬ蛙どもが、雌を求め雄を求めて集りだし、果ては、双方に分れ鬨こゑの声よろしく戦いが開始される。その雄叫びは山々にもこだまし、その戦のすさまじいこと、ある者は噛み、ある者はけり合い飛び交い、力の限りをつくしての文字通りの死斗であ